



武蔵村山市立第八小学校

八小コミュニティ・スクールだより

令和 元年 7 月 1 日

<http://city.musashimurayama.lg.jp/shool/mmced8s/>

第12号

2019年度の学校運営協議会が新しいメンバ - 2名の方が参加されてスタートしました

コミュニティ・スクール イメージ図

第八小学校 PTA

武蔵村山市立第八小学校

五中校区コミュニティ・スクール委員会

コーディネート部会

八小PTA(保護者)	PTA会長、PTA顧問
地 域	地域自治会長等
有識者	元大学非常勤講師
学 校	コミュニティ推進委員長、 副校長、主幹教諭

ワーキンググループに6名の先生がいます

学校運営協議会

学校4名、地域等14名

- ★学習支援部会
- ★ふれっチャ部会
- ★環境・緑化部会
- ★健康・安全部会
- ★広報部会

※年8回開催

2019年度 学校運営協議会の方針

1 基本的な運営方針は従来の考えを踏襲する

2 下記事項について継続又は新規に取り組む

①現在の諸活動を充実しさらに発展させる

- ・部会活動における諸問題を改善する
- ・今年度の学校経営方針を元に具体策を現活動に鑑みてチェックし新設・改廃を行う

②「人材バンク」(仮称)の登録応募の状況をみて少ない場合はその範囲を拡大する

- ・各種活動に求められる講師・学習支援ボランティアを確保するために設立を決定して経験者の登録依頼を行った。登録者の状況を見て依頼の拡大を図る

③「八小お手伝いクラブ」メンバーの増員と定着に努める

④全員討議を推進し、課題を明確にする

- ・「児童の安心・安全を考える」のテーマで行ったが、チェック項目の整理以降具体的な現状掌握や対応策などの整理が進んでいないので推進する。
- ・出来れば「安全ノート(仮称)」の作成まで進めていきたい

⑤諸活動の成果評価を行う

- ・学校側の評価アンケートの実施
- ・先生方の「働き方改革」の観点からの課題も考えたい

⑥PTA及び青少対などの諸団体との連携を考える

第八小学校
ホームページ

バックナンバー
のコミュニティ・
スクールだよりが
ご覧になれます



11号に引き続き、学校運営協議会委員である、都立武蔵村山高校主任教諭大塚進先生から、「武蔵村山高校生と第八小学校生」について執筆いただきましたのでご紹介させていただきます。

高校生と小学生のふれあい

都立武蔵村山高等学校

主任教諭 大塚 進

高校生は常に将来への希望と不安を抱えています。高校への入学には受検が必要ですが、大多数の中学生が高校進学するので、高校は義務教育の続きという側面が濃厚です。ところが、高校後の進路は多岐にわたります。武蔵村山高校では4年制大学(浪人を含む)、短期大学、専門学校、就職に分かれます。本人の意思がそのまま進路に現れることになります。人生に関わる重大な結論を遅くとも2年生までにはしなければならぬことになります。

ふれっチャ・クラブに来ている生徒たちはどのような思いで八小講座を選択したのでしょうか。ふれっチャ・クラブは高校の日程では、月曜日の5・6限に当たります。この時間は、選択科目の時間で他に国語・数学・英語の主要3教科の科目が設定されています。

選択した理由は様々ありますが、将来、幼児や児童の教育に携わりたいと思っている生徒が多数存在します。過去の生徒の中には、「教育実習の予行演習ができた」と喜んでいて生徒がいました。今年の生徒も同じような思いをもっているはずですが、それ以外の進路希望の生徒たちもいますが、彼らも素直な子供たちと触れ合い、「チョーかわいい」と言って喜んでいて。特に、前期・後期の最後に子供たちからもらう「感謝の手紙」を見て、一概に喜んでいて姿を見て、うらやましくなり、私も小学校に勤めたかったなと思うことしきりです。

普段は「生徒」の高校生が、八小では「先生」です。異質だけれども貴重な体験を多くさせていただき有意義な時間を過ごしています。彼らがどのような進路になろうとも、八小で大切なものを沢山得、必ず将来のよき糧になると思います。八小の先生方、小学生、ボランティアの方々に感謝しています。



※「受検」と「受験」の違いを
「存じますか？」

調べてみると、「なるほど！」
と感激するかも？

広報部